



# 学校だより11月号

令和5年10月31日

横浜市立六つ川小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawa/>

学校教育目標

自らがやき 友とかがやき かがやく未来を創る六つ川の子  
(地域を愛し、主体的に考え行動する人を育てます。)

## 全力でやりきる姿に感動

校長 鐘江 ミサ

10月21日(土)4年ぶりに、たくさんの方にご参観いただき「六つリンピック」を開催することができました。大変多くの入場が予想され、混雑等を心配しましたが、保護者の皆様、地域の皆様のご協力でもとてもスムーズに進行することができました。また、PTA本部役員の皆様、六つ川サポーターズの皆様には早朝から運営をして終了後の片付けまでお手伝いをいただきました。終了後の後片付けには、保護者の方々にもご協力いただきまして、あっという間に原状復帰となりました。多くの方々のご協力、お力添えがあって開催できましたこと、大変感謝しております。ありがとうございました。

子どもたちが作り上げた六つリンピック、いかがでしたでしょうか。子どもたち自身が学校教育目標から考えた「太陽のように輝き、月のように光れ、未来を創る六つリンピック」に向かい、一人一人が光り輝いていました。全力で徒競走、演技、競技に取り組み、スローガン達成を見せてくれたと思います。真剣に自分のゴールに向かって懸命に走る姿、溢れる笑顔で楽しんで踊る姿、縦割り競技でお互いを支え合う姿はとても尊く感じられ、こちらも自然と笑顔になり満ち足りた気持ちになりました。そして「熱血、六つ小ソーラン2023」に釘付けになりました。自分たちが背負っている六つ小最後の六つリンピックをやりきるのだという気迫が、北の漁師の過酷な労働における気合と重なり、強い感動を与えてくれました。感動すると自然と涙があふれることを今さらながら実感し、最後の掛け声と共に踊っているような錯覚も覚えました。本当に素晴らしかったです。低学年中学年は、その姿に「かっこよかった。」「自分もはやくソーラン節を踊りたい。」と感想をもち目指す姿を見通していました。

高学年は、自分たちの演技競技以外にも係としての活躍が随所に見られ、まさに主役。実行委員、応援団、放送係、ふれあい係、製作・授与係、用具係、児童サポーター・保健係、適材適所で、本人たちが自信をもって役割を果たす姿は、今回の六つリンピックの一人一人が輝き、良さを発揮する趣旨を体現していました。また、六つリンピックのメインともいえる異学年ペア競技は、知恵と工夫で盛り上がりを見せ喜びや楽しさを分かち合う姿、励まし合う姿がたくさん見られ、友と輝くよい機会となりました。子どもたちの振り返りの中にも、全力でやりきった自分や友達をたたえ、楽しさ嬉しさのあふれる満足した様子が表現されていました。子どもたちが中心の子どもたちの良さが伝わる六つリンピック、実現されたと考えています。子どもたちのこの思いが、今後の学校生活に生かされるよう、教職員一同気を引き締めて、向き合い、寄り添っていきたいと思います。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

なお、六つリンピックにつきましては、学校評価アンケート等で、ご意見ご感想をいただけますとありがたいです。今月は、行事も多く予定されております。お子さんの体調管理等にご留意いただきますようお願いいたします。

子どもたちの振り返りから、ほんの一部を紹介します。

- 全部のきょうぎでみんなキラキラすることができた。
- ペアの子が、「こうしたほうがいいよ。」と言ってくれてうれしかった。
- 太陽のように熱く自分に負けずにがんばれた。
- 走るのや運動会苦手だけど、あきらめないでやったらうまくできました
- ペアの子と一緒に練習して、とてもなかよしになれたのがうれしかった
- 走っているときダンスしているとき自分では分からない「かがやき」があったと家で言われて、ちゃんと頑張れたと思いました。
- 勝ち負けに関係なく、必死に全力を出すことができた。
- 全力でやりきって最後まで輝けました。 ・一人一人が太陽のように熱く月のように光れた運動会になった。
- なんの競技でも楽しく協力してだれかの役に立って、心に残る運動会になった。
- ソーラン節や係を5年生とやれて、仲良くなって「来年も頑張る。」と伝えることができた。

